

★日本鍼灸師会 全国学術部長会議 参加 報告文★

学術部 村田 守宏

7月3日(日)に日本鍼灸師会 平成23年度 全国学術部長会議が開催され、出席してまいりました。私にとっては、はじめての全国会議参加。今回は、雰囲気味わうつもりで東京入りしましたが、会議序盤から活発な意見が交わされ、とても刺激になりました。

これから愛知県でも学術の新しい取り組みができればと思っています。

以下、会議内容を簡単に報告いたします。

◆は、議題の要約です。

【議 題】

(1) 平成23年度 研修事業について

1) 第7回 日鍼会 全国大会(北海道大会)

◆今回は、マスコミ9社が参加。鍼灸を広く道民にアピールしたいという目的がある。6/9より日鍼会ホームページから事前登録が可能。多くの会員さんの参加を。

2) 専門領域研修事業

3) 財団生涯研修制度

◆研修事業および研修制度の推進を願う。

4) 第31期鍼灸臨床研修会(東京・大阪)

◆県師会 推薦者が近年少なくなっている。推薦を望む。また今期から会員外、学生も参加可能に。詳細は、日鍼会ホームページを参照のこと。

5) 第2回臨床鍼灸スポーツフォーラム

◆平成23年11月23日(水、祝日) 名古屋国際会議場で開催予定。症例報告4題。および鍼灸ボランティア報告を募集。
7月31日まで

6) 学術講習事業

- ◆県単位での参加協力依頼あり。講師基準。①医師。大学教授、準教授に準ずる者。②鍼灸師 学術 兼ね備えた者。

7) 第二次日本経穴委員会

- ◆日鍼会もこの事業に出資協力している。

8) 学術研修単位管理システム

- ◆今年度よりスタートの新しいシステム。目的は、日鍼会の研修会のデータベース化。今後は、質の高い管理システムが必要。早ければ10月9日,10日の北海道大会より開始。各県師会で協力を。

(2) 第8回日鍼会全国大会（埼玉大会）について

- ◆平成24年10月7日,8日 開催予定。

(3) 第9回日鍼会全国大会（岡山大会）について

- ◆平成25年10月13日,14日 開催予定。

(4) 鍼灸医療推進研究会について

- ◆知名度が低い。今後は「鍼灸臨床鑑別ガイドライン」などのテキスト発行を考えている。本事業の推進を。